

新春を迎えて



一宮市議会議長

渡辺 宣之

あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、度重なる台風の上陸や豪雨、地震などにより、全国各地で甚大な被害が発生いたしました。特に9月の台風21号は、市内にも大きな爪痕を残すものとなりました。一方、本市を含むこの地域では、南海トラフ巨大地震の発生が危惧されております。予測がつかない自然災害に備えて地域の実情を把握するとともに、官民一体となった自主防災組織の強化など、災害に強いまちづくりが急務であることを痛感させられる1年でございました。

本年は、世界の三大スポーツの祭典の一つといわれる「ラグビーワールドカップ2019」が日本で開催されま

す。本市は、ニュージーランド代表、南アフリカ代表の2チームの公認キャンプ地として内定しております。世界ランキング上位のチームのプレーを間近に見ることが出来る絶好の機会です。この機会を生かしスポーツ振興の機運を高め、ますます元氣な一宮となることを期待しております。

また本市は、2021年に市制施行100周年を迎えますが、この記念すべき年に中核市へ移行することを意思表明しました。中核市となることで、より質の高い行政サービスを市民の皆さまに提供できるよう、市議会としても働き掛けをしていく所存でございます。

本市議会では、市民の皆さまに議会の活動状況を広く周知し、議会に対する関心を高め、理解を深めていただくことを目的に、昨年5月から「議会だより138」の発行を開始いたしました。今後とも、議員一丸となり、分かりやすく開かれた市議会となるよう、取り組んでまいりますので、市民の皆さまの一層のご支援とご協力をいただきますようお願いいたします。

最後に、本年が皆さまにとってより良い年となりますよう祈念いたします。年頭のあいさつといたします。

